

令和 8 年 8 月 31 日

令和 8 年度病害虫発生予察注意報（第 2 号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
2. 対象作物：カキ、キウイフルーツ、ナシ、ブドウ、カンキツなど
3. 対象地域：県内全域
4. 発生量：多
5. 加害期間：8 月下旬～
6. 注意報発表の根拠

4 月 23 日付け令和 8 年度病害虫発生予察注意報（第 1 号）を発表したところであるが、以降の発生も平年を上回っており、8 月 1～20 日の予察灯における誘殺数は更に増加している。

- 1) 紀の川市粉河の予察灯における 8 月 1～20 日の誘殺数はチャバネアオカメムシが 2,060 頭（平年 635 頭）、ツヤアオカメムシが 1,350 頭（同 296 頭）であった（図 1）。
- 2) 有田川町奥の予察灯における 8 月 1～20 日の誘殺数はチャバネアオカメムシが 2,871 頭（平年 415 頭）、ツヤアオカメムシが 799 頭（同 128 頭）であった（図 2）。
- 3) みなべ町東本庄の予察灯における 8 月 1～20 日の誘殺数はチャバネアオカメムシが 2,298 頭（平年 1,140 頭）、ツヤアオカメムシが 3,281 頭（同 539 頭）であった（図 3）。

7. 防除上の注意事項

- 1) 果樹カメムシ類の飛来量はほ場間差が大きく、山林隣接ほ場では被害が出やすい傾向がある。
- 2) カキでは「富有」で被害が大きいので、特に注意が必要である。
- 3) 飛来の多いカンキツ園では落果が多数発生する可能性があるため、防除を徹底する。
- 4) 収穫期の防除となる品目では、薬剤の使用時期（収穫前日数）に注意する。使用時期が「収穫前日まで」となっている薬剤の場合、収穫は散布から 24 時間以上経過してから開始する。

- 5) 今後の発生動向については、農作物病虫害防除所の果樹カメムシ情報
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/072000/d00216368/kajukame.html>や、
 各地域の振興局、JA 等の情報を参考にする。
- 6) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp>）を参照し、適正に使用する。

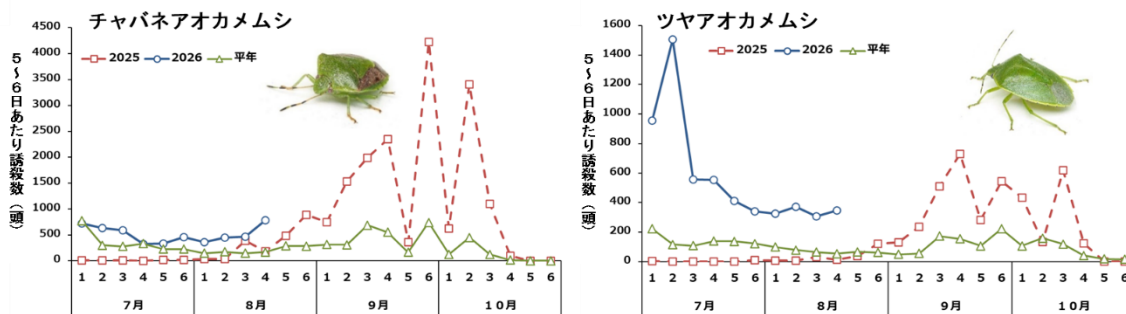


図1 紀の川市粉河の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺消長

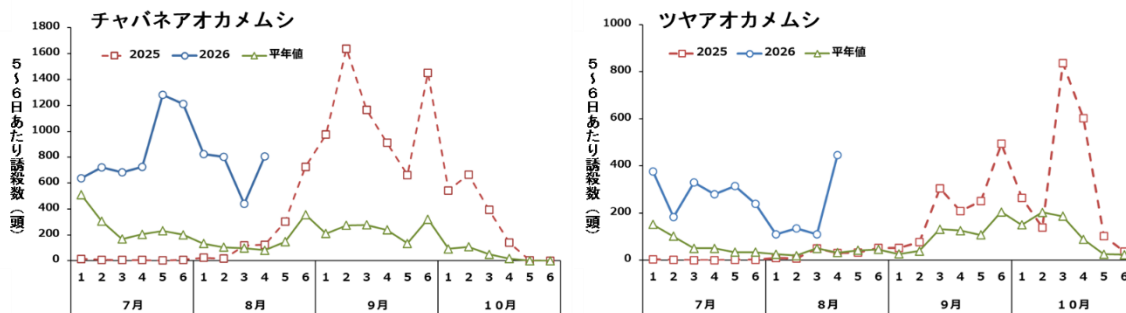


図2 有田川町奥の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺消長

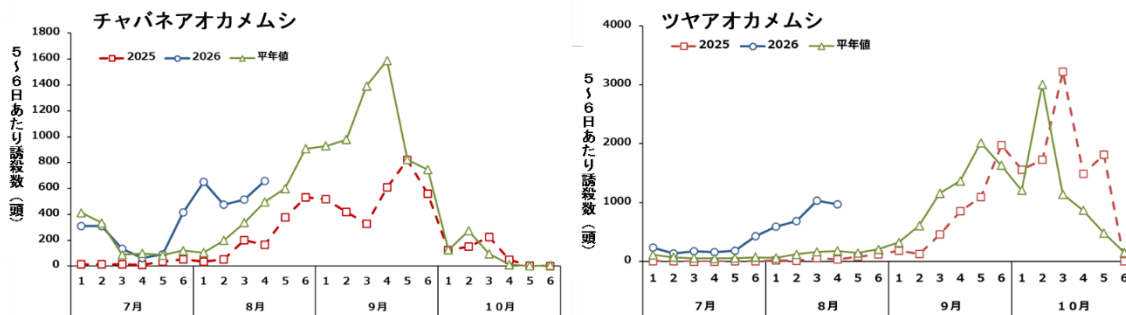


図3 みなべ町東本庄の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺消長

※図1～3の横軸の数字は半旬（1：1～5日、2：6～10日、3：11～15日、4：16～20日、5：21～25日、6：26～30日または31日）を示す。

和歌山県農作物病虫害防除所
 紀の川駐在（TEL：0736-73-2274）
 有田川駐在（TEL：0737-52-4320）